

【令和 8 年度 第 3 回 二之江中学校 学校運営協議会 議事録】

会議名: 令和 8 年度 第 3 回 二之江中学校 学校運営協議会

日 時: 令和 8 年 7 月 29 日 (水) 16:00~17:00

場 所: 二之江中学校 会議室

出席者: 会長・校長・副校長・教員代表 (6 名)・委員各位 (12 名出席)

1. 開会・事務局連絡

- ・ 委員謝金の振込に伴う口座確認書類の提出依頼。
- ・ 辞退者には「公衆辞退届」への署名を依頼。
- ・ 全員は揃っていないが、時間の都合上、会議を開始。

2. 校長挨拶

校長より、今年度の教育テーマとして「**自主**」および「**挑戦**」を掲げる旨の説明があった。

- ・ 社会に出て通用する力を育てたい。
- ・ 基本的な生活習慣 (挨拶・言葉遣い・時間を守る・きちんとやる) を重視。
- ・ その上で、
○自分で考える力 ○自分の言葉で伝える力 ○協力する力 を育成したい。
- ・ 委員には、若者を多方面から見てきた視点で助言をいただきたいと依頼。

3. 会長挨拶

- ・ 限られた時間の中で有意義な議論を進めたい旨の挨拶。
- ・ 「皆さん暑いけど頑張りましょう」と激励。

4. 一学期 活動報告

(1) 1 学年 学年目標: 考え・表現し・協力する

- ・ 入学直後は生活リズムの変化で混乱。特に体育の着替えが間に合わない生徒が多かった。
- ・ 3 か月で徐々に改善。
- ・ 運動会は結果に左右されず、各クラスが自分たちのペースで取り組めた。
- ・ 初めての定期考査は勉強方法が分からず苦戦。
- ・ 校外学習 (江戸文化の魅力発掘) に向け、実行委員が主体的にアイデアを出すようになった。
- ・ 「自分たちのために自分たちで考える姿勢」が芽生えてきた。

(2) 2 学年 学年テーマ: 守・破・離 (自分でやる)

- ・ ラグビー観戦 (スピアーズ) で学年の一体感が高まった。
- ・ 官民連携の「商品開発プロジェクト」に参加。
 - レトルトカレー (地域のレンコンを活用)
 - 金魚型の米粉クッキー
 - クラウドファンディング会社「幕開」と連携し販売予定
- ・ 農村体験で食料自給率や地域農業を学習。
- ・ 三者面談では「忙しかったが充実していた」という声が多い。
- ・ 時間厳守・挨拶などの基礎は改善の余地あり。
- ・ 10 月に職場体験 (55 事業所+特支 15 事業所)。

(3) 3学年 学年テーマ: 自治(自分たちのことは自分たちで)

- ・ 1・2年時から「失敗から学ぶ」方針で育成。
- ・ 生徒は繊細で「ガラスの心」を持つ傾向がある。
- ・ 2年時のダンスプロジェクトで自己表現を強化。
- ・ 3年では多数の外部講師による進路学習・性教育などを実施。
- ・ 面談では「自分のことを自分の言葉で伝える力」を上げたい。
- ・ 修学旅行は **京都+金沢の二都市**
 - 行程・ルール・弁当内容・小遣い額まで生徒が決定
 - 自己肯定感を高めることが目的

(4) 7組 「失敗させないようにする→失敗してもよいからやらせる」方針へ転換

- ・ 生徒が会社「ニエ江プレミアム」を作り、校内の依頼を仕事として受ける。
 - プリント配布、運動会準備、掲示物制作など
- ・ 仲間と作業することで一体感が生まれ、自己肯定感が向上。
- ・ 地域イベント「ブルースカイマーケット」で販売体験。
- ・ 1年生の着替えの遅れには上級生が声かけして支援。
- ・ 学年を超えた交流を進めたい。

5. 質疑応答

- ・ 特段の質問なし。

6. 熟議(ディスカッション) 各グループからの報告・共有

1. 人間性を育てることが最も重要

Aグループでは、

- ・ 自分本位ではなく、組織や周囲のことを考えられる力
- ・ AI時代でも自分の考えや気持ちを表現する力
- ・ 挨拶、時間を守る、約束を守るなどの基本的生活習慣
- ・ 粘り強く最後までやり抜く力

が重要だという意見が出されました。そして、「社会で可愛がられ、信頼される人になるためには、まず人間性が土台になる」という結論にまとまりました。

2. 自分で学び、自分を見つける力

Bグループでは、

- ・ 点数だけにとらわれないこと
- ・ プレッシャーに負けない精神力
- ・ 読書や漫画を通して考えを広げること
- ・ 他者との意見交換をすること
- ・ SNSやスマホから離れる「デジタルデトックス」

などが話題になりました。特に、「自分が本当に何をやりたいのかを見つける力」を育てることが大切だという結論となりました。

3. どこでも活躍できる適応力

Cグループでは、「ユーティリティプレイヤーを育てよう」というテーマにまとまりました。

議論では、

- ・ 昔と今のニエ江中生徒の比較
- ・ 地域の変化
- ・ 家庭環境の二極化
- ・ 生徒の良さ(素直さ、仲の良さ)

などについて話し合われました。

その上で、

- ・ 状況に応じて考え行動する力
- ・ 自分の意見を伝える力
- ・ 転んでも立ち上がる力
- ・ 仲間と協力できる力

を身に付けさせたいという意見が出ました。

4. 学力向上のための「見える化」

Dグループでは学習面に焦点が当てられました。

課題として、

- ・ 家に勉強スペースがない
- ・ 勉強方法が分からない
- ・ 時間管理が苦手
- ・ 宿題のやらせ方に工夫が必要

などが挙げられました。

改善案として、

- ・ 学校を自習室として開放する
- ・ PTA や地域が見守りに協力する
- ・ 自分の課題や目標を見える化する
- ・ 勉強方法を生徒同士や教員が共有する

といった「学力見える化プロジェクト」が提案されました。

熟議全体のまとめ

4グループの議論に共通していたのは、

- ・ 学力だけでなく人間力を育てること
- ・ 自分で考えて行動すること
- ・ 他者と協力できること
- ・ 社会に適應できること
- ・ 地域・家庭・学校が協力して子どもを育てること

の重要性でした。

また事務局からは、「出された意見を今後具体的な取組に落とし込み、学校だけでなく学校運営協議会として誰がどのように実行するかを検討していきたい」とのまとめが示されました。

7. 閉会

- ・ 以上で本会議を終了した。